

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 一級河川 太田川水系 権地川支川 通常砂防事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 砂防 砂防

ボーリング名	B No. 2	調査位置	広島市安佐南区 長束町	北緯	34° 25′ 45.4665″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	2017年 12月 26日 ～ 2018年 1月 10日	東経	132° 26′ 28.6385″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
孔口標高	T P 132.52m	角	180° 上下 0° 90°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	8.00m	地盤勾配	鉛直 90° 17°	使用機種	試験機 東邦DD-C エンジン ヤンマーNFD-10 ポンプ 東邦BG-3C

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	地質時代名	記 事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験						試料採取	室内位置試験	削孔月日
(m)	(m)	(m)					調	度	度			深度－N値図						深	採	日
												N	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	採	
												値 (m)	度 (m)	0	100	200	300	(m)	番	
1	132.22	0.30	砂礫	砂礫	rd1	灰褐				Φ=10mm以下の垂角礫をわずかに混入。基質はシルト質中砂。		20	1.15	5	7	8	30			
2	131.62	0.90	砂礫	砂礫	rd3	褐				l=8～21cmの玉石及びΦ=50mm以下の垂角礫を70%混入。基質はシルト質粗砂。		20	1.45	5	9	8	30			
3	130.92	1.60	砂礫	砂礫	rd5	灰				Φ=2～60mmの垂角礫を30～40%混入。基質はシルト質粗砂。 Cl: 1.6m付近に植物根含む。		167	2.00	50	90	50	90			12/26
4	129.62	2.90	玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫	rd3	灰褐				l=16～30cmの玉石とΦ=40mm以下の垂角礫主体。基質はシルト質細礫。		22	3.15	5	9	8	22			12/27
5	127.52	5.00	砂礫	砂礫	rd3	灰				Φ=2～70mmの垂角礫を30～40%混入。基質は半固結状のシルト混じり細礫。 Cl: 3.6～3.75m間は玉石。掘進中、全漏水状態。		18	4.15	6	6	6	18			
6			花崗岩	花崗岩		灰				コア肌なめらかでハンマー軽打により金属音。短～長柱状コア主体。亀裂沿いに褐色となる。Q軟。		975	5.00	50	40	50	40			1/9
7	124.52	8.00											貫入不能	貫入不能	貫入不能	貫入不能				1/10